

公立病院経営強化プランの概要

団体コード	100005
施設コード	004

団 体 名	群馬県							
プ ラ ン の 名 称	群馬県県立病院経営強化プラン（中期経営計画）							
策 定 日	令和	6	年	3	月	18	日	
対 象 期 間	令和	6	年度	～	令和	9	年度	
病院の現状	病 院 名	群馬県立小児医療センター	現在の経営形態	地方公営企業法全部適用				
	所 在 地	群馬県渋川市北橋町下箱田779						
	病 床 数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	150					150
診 療 科 目	科目名	小児科、小児外科、放射線科、麻酔科、循環器科、アレルギー科、神経内科、形成外科、心臓血管外科、産科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、精神科、歯科、眼科、整形外科（計16科目）						
	一般・療養病床の病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること	
① 役割・機能の最適化と連携の強化	①地域医療構想を踏まえた当該病院の果たすべき役割	現状における当該病院の果たす役割 県内唯一の小児専門病院として、高度で先進的な小児医療・周産期医療を安全に提供し、県内全域の中核病院として群馬県の医療に一層貢献していくとともに、県内全域から患者を受け入れる三次医療体制の堅持および北毛地域の二次救急医療に輪番病院としての対応、総合周産期母子医療センターとしての役割を果たす						
	経営強化プラン最終年度における当該病院の具体的な将来像	県内唯一の小児専門病院および総合周産期母子医療センターとして役割を果たし、関係医療機関と連携しながら、県民に安全、安心で質の高い医療を提供している。また、将来にわたり健全な経営を維持できるよう、経営強化の取組を進め、経常収支が黒字化している。						
	令和7年度（地域医療構想の推計年）における当該病院の機能ごとの病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	150					150
	経営強化プラン最終年度における当該病院の機能ごとの病床数	病床種別	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
		一般・療養病床の病床機能	41	109			150	
	令和7年度（地域医療構想の推計年）における当該病院の機能ごとの病床数	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	計
		一般・療養病床の病床機能	150					150
	経営強化プラン最終年度における当該病院の機能ごとの病床数	病床種別	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計※	※一般・療養病床の合計数と一致すること
		一般・療養病床の病床機能	41	109			150	
②地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割	他の医療機関では治療することができない重度な疾患に対して、県内全域から患者を受け入れる三次医療体制を堅持するとともに、北毛地域の二次救急医療に輪番病院として対応し、地域の救急医療を担っている。地域の病院や診療所等との連携を強化し、紹介・逆紹介に積極的に取り組むとともに、必要な医師・看護師等の派遣や受入れなどを通じて、より質の高い医療を地域全体として提供するよう努める。							
③機能分化・連携強化の取組	当該公立病院の状況							
当該病院に係る機能分化・連携強化の概要	<input checked="" type="checkbox"/> 施設の新設・建替等を行う予定がある <input type="checkbox"/> 病床利用率が特に低水準（令和元年度から、令和3年度まで過去3年間連続して70%未満） <input type="checkbox"/> 経営強化プラン対象期間中に経常黒字化する数値目標の設定が著しく困難 <input checked="" type="checkbox"/> 地域医療構想や今般の新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、病院間の役割分担と連携強化を検討することが必要である <input type="checkbox"/> 医師・看護師等の不足により、必要な医療機能を維持していくことが困難							
	構想区域内の病院等配置の現況							
当該病院に係る機能分化・連携強化の概要								
（注） 1 詳細は別紙添付可 2 具体的な計画が未定の場合は、①検討・協議の方向性、②検討・協議体制、③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期を明記すること。		<時 期>	<内 容>					
		令和6～9年	登録医制度を活用した病診連携・病病連携を推進し、患者の紹介・逆紹介を積極的に行うことにより、さらなる医療の質の向上を目指す。また、入退院支援センターの整備を進めるとともに、重症心身障害児の家族支援に一層取り組み、患者や家族に寄り添ったケアを実施する。さらに、県内唯一の小児専門病院としての機能強化、また総合周産期母子医療センターのあり方を含めた、病院再整備の検討を進めるとともに、再整備後を踏まえた院内の体制整備を進める。					

④医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標		4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度	備考
1) 医療機能に係るもの								
	手術件数(件)	764	752	790	830	860	900	
	WEB問診を活用した手続き数(件)	1	1	2	3	4	5	
2) 医療の質に係るもの								
	クリニカルパス導入疾患数	0	2	5	8	10	12	
	医療安全研修受講率(%)	90.0	90.0	93.0	95.0	98.0	100.0	
3) 連携の強化等に係るもの								
	登録医数(人)	326	328	330	332	334	336	
	レスパイト入院患者数(人)	75	104	110	115	120	125	
4) その他								
	医学実習生の受入延べ人数(人)	417	486	510	540	570	600	
	看護・コメディカル実習生の受入延べ人数	1,302	1,544	1,580	1,620	1,660	1,700	
	認定看護師数	10	11	12	14	15	17	
⑤一般会計負担の考え方 (繰出基準の概要)		<p>地方公営企業である病院事業は、企業としての経済性を発揮し、病院の診療収益などにより必要な経費を賄う独立採算が原則である。</p> <p>一方で、県立病院は公共的な見地から、県が行う保健衛生行政に協力することや、採算性や特殊性から民間病院等では十分対応できない高度専門医療を提供することが求められており、そのための施設を整備することも県立病院の役割を果たす上で重要な取組である。</p> <p>これらの運営に係る経費は、患者などからの診療収益による受益者負担によって、その全ての経費を賄うことが適当でないものであり、独立採算の原則から外して一般会計から必要な経費を負担される必要がある。</p>						
⑥住民の理解のための取組		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや病院広報誌による情報発信 ・登録医など地域の医療機関に対する地域医療連携の推進 ・プラン進捗を外部有識者を中心とする県立病院経営評価委員会において毎年度評価し、公表する。 						
① 医師・看護師等の確保の取組	大学病院等の関係機関との連携を強化するとともに、ホームページや広報誌を通じて当センターの魅力や強みを情報発信し、人材確保のための取組を推進する。							
	積極的に研修医の受入れを推進し、人材の育成と定着を図る。							
	適切な労務管理による時間外労働の把握と、ドクタークラークの活用等によるタスクシェアに取り組む。また、ペーパーレス化を推進するとともに、電子カルテへの音声入力などのデジタル技術を活用することで、業務の効率化を図る							
② 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保の取組								
③ 医師の働き方改革への対応								
③ 経営形態の見直し	経営形態の現況 (該当箇所に✓を記入)	<input type="checkbox"/> 地方公営企業法財務適用 <input checked="" type="checkbox"/> 地方公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合						
	経営形態の見直し(検討)の方向性 (該当箇所に✓を記入、検討中の場合は複数可)	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人(非公務員型) <input checked="" type="checkbox"/> 地方公営企業法全部適用 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 民間譲渡 <input type="checkbox"/> 診療所化 <input type="checkbox"/> 介護医療院、老健施設など、医療機関以外の事業形態への移行						
	経営形態見直し計画の概要 (注) 1 詳細は別紙添付可 2 具体的な計画が未定の場合 は、①検討・協議の方向性、② 検討・協議体制、③検討・協議 のスケジュール、結論を取りま とめる時期を明記すること。	<時 期> 未定	<内 容>					
			①検討・協議の方向性 毎年度のプラン進行管理の中で検討・協議を継続する ②検討・協議体制 県立病院経営評価委員会、経営戦略会議 ③検討・協議のスケジュール、結論を取りまとめる時期 検討・協議は継続するが、結論をまとめる時期は未定					

<p>(4) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組</p>	<p>状況の変化に応じた院内感染対策マニュアルの改訂、新興感染症を想定した研修や訓練の実施、手指衛生の遵守率向上、環境感染学会ガイドラインに準拠した医療従事者へのワクチン接種等を推進する。</p>																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>(5) 施設・設備の最適化</p> <p>① 施設・設備の適正管理と整備費の抑制</p>	<p>病院としての機能を維持するため、計画的かつ効率的な整備を進めることにより施設の長寿命化に努め、安全・安心な医療環境の確保、財政負担の平準化・トータルコストの削減を図る。県立4病院のスケールメリットを生かした診療材料費の包括交渉や、4条予算の投資上限額の設定による経費削減を行う。</p>																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>② デジタル化への対応</p>	<p>医療サービスや患者サービスの向上のため、WEB問診などのデジタル技術を積極的に活用していく。また、ペーパーレス化を推進するとともに、電子カルテへの音声入力などの技術を活用することで、業務の効率化を図る。</p>																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>(6) 経営の効率化</p> <p>① 経営指標に係る数値目標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="569 774 751 854">1) 収支改善に係るもの</th> <th data-bbox="751 774 934 854">4年度 (実績)</th> <th data-bbox="934 774 1117 854">5年度 (見込み)</th> <th data-bbox="1117 774 1299 854">6年度</th> <th data-bbox="1299 774 1482 854">7年度</th> <th data-bbox="1482 774 1665 854">8年度</th> <th data-bbox="1665 774 1848 854">9年度</th> <th colspan="2" data-bbox="1848 774 2009 854">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="569 854 751 899">経常収支比率 (%)</td> <td data-bbox="751 854 934 899">100.7</td> <td data-bbox="934 854 1117 899">99.4</td> <td data-bbox="1117 854 1299 899">98.6</td> <td data-bbox="1299 854 1482 899">99.6</td> <td data-bbox="1482 854 1665 899">99.8</td> <td data-bbox="1665 854 1848 899">101.1</td> <td colspan="2" data-bbox="1848 854 2009 899"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 899 751 943">修正医業収支比率 (%)</td> <td data-bbox="751 899 934 943">62.0</td> <td data-bbox="934 899 1117 943">65.8</td> <td data-bbox="1117 899 1299 943">68.4</td> <td data-bbox="1299 899 1482 943">69.4</td> <td data-bbox="1482 899 1665 943">69.3</td> <td data-bbox="1665 899 1848 943">70.9</td> <td colspan="2" data-bbox="1848 899 2009 943"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 943 751 988"></td> <td data-bbox="751 943 934 988"></td> <td data-bbox="934 943 1117 988"></td> <td data-bbox="1117 943 1299 988"></td> <td data-bbox="1299 943 1482 988"></td> <td data-bbox="1482 943 1665 988"></td> <td data-bbox="1665 943 1848 988"></td> <td colspan="2" data-bbox="1848 943 2009 988"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 988 751 1032"></td> <td data-bbox="751 988 934 1032"></td> <td data-bbox="934 988 1117 1032"></td> <td data-bbox="1117 988 1299 1032"></td> <td data-bbox="1299 988 1482 1032"></td> <td data-bbox="1482 988 1665 1032"></td> <td data-bbox="1665 988 1848 1032"></td> <td colspan="2" data-bbox="1848 988 2009 1032"></td> </tr> <tr> <th data-bbox="569 1032 751 1113">3) 収入確保に係るもの</th> <th data-bbox="751 1032 934 1113">4年度 (実績)</th> <th data-bbox="934 1032 1117 1113">5年度 (見込み)</th> <th data-bbox="1117 1032 1299 1113">6年度</th> <th data-bbox="1299 1032 1482 1113">7年度</th> <th data-bbox="1482 1032 1665 1113">8年度</th> <th data-bbox="1665 1032 1848 1113">9年度</th> <td colspan="2" data-bbox="1848 1032 2009 1113">備考</td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1113 751 1157">病床利用率 (%)</td> <td data-bbox="751 1113 934 1157">63.3</td> <td data-bbox="934 1113 1117 1157">69.9</td> <td data-bbox="1117 1113 1299 1157">73.2</td> <td data-bbox="1299 1113 1482 1157">73.9</td> <td data-bbox="1482 1113 1665 1157">74.7</td> <td data-bbox="1665 1113 1848 1157">75.2</td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1113 2009 1157"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1157 751 1202">PICU加算算定患者数(人)</td> <td data-bbox="751 1157 934 1202">1,130</td> <td data-bbox="934 1157 1117 1202">1,350</td> <td data-bbox="1117 1157 1299 1202">1,370</td> <td data-bbox="1299 1157 1482 1202">1,390</td> <td data-bbox="1482 1157 1665 1202">1,410</td> <td data-bbox="1665 1157 1848 1202">1,430</td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1157 2009 1202"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1202 751 1246">入退院支援加算3算定件数(件)</td> <td data-bbox="751 1202 934 1246">125</td> <td data-bbox="934 1202 1117 1246">130</td> <td data-bbox="1117 1202 1299 1246">133</td> <td data-bbox="1299 1202 1482 1246">136</td> <td data-bbox="1482 1202 1665 1246">139</td> <td data-bbox="1665 1202 1848 1246">143</td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1202 2009 1246"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1246 751 1291"></td> <td data-bbox="751 1246 934 1291"></td> <td data-bbox="934 1246 1117 1291"></td> <td data-bbox="1117 1246 1299 1291"></td> <td data-bbox="1299 1246 1482 1291"></td> <td data-bbox="1482 1246 1665 1291"></td> <td data-bbox="1665 1246 1848 1291"></td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1246 2009 1291"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1291 751 1335"></td> <td data-bbox="751 1291 934 1335"></td> <td data-bbox="934 1291 1117 1335"></td> <td data-bbox="1117 1291 1299 1335"></td> <td data-bbox="1299 1291 1482 1335"></td> <td data-bbox="1482 1291 1665 1335"></td> <td data-bbox="1665 1291 1848 1335"></td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1291 2009 1335"></td> </tr> <tr> <th data-bbox="569 1335 751 1415">3) 経費削減に係るもの</th> <th data-bbox="751 1335 934 1415">4年度 (実績)</th> <th data-bbox="934 1335 1117 1415">5年度 (見込み)</th> <th data-bbox="1117 1335 1299 1415">6年度</th> <th data-bbox="1299 1335 1482 1415">7年度</th> <th data-bbox="1482 1335 1665 1415">8年度</th> <th data-bbox="1665 1335 1848 1415">9年度</th> <td colspan="2" data-bbox="1848 1335 2009 1415">備考</td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1415 751 1460">後発医薬品指数</td> <td data-bbox="751 1415 934 1460">88.3</td> <td data-bbox="934 1415 1117 1460">88.0</td> <td data-bbox="1117 1415 1299 1460">88.2</td> <td data-bbox="1299 1415 1482 1460">88.4</td> <td data-bbox="1482 1415 1665 1460">88.6</td> <td data-bbox="1665 1415 1848 1460">88.8</td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1415 2009 1460"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1460 751 1504">共同購入による診療材料費削減額(千円)</td> <td data-bbox="751 1460 934 1504">14,318</td> <td data-bbox="934 1460 1117 1504">20,000</td> <td data-bbox="1117 1460 1299 1504">22,000</td> <td data-bbox="1299 1460 1482 1504">24,000</td> <td data-bbox="1482 1460 1665 1504">26,000</td> <td data-bbox="1665 1460 1848 1504">28,000</td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1460 2009 1504"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1504 751 1549"></td> <td data-bbox="751 1504 934 1549"></td> <td data-bbox="934 1504 1117 1549"></td> <td data-bbox="1117 1504 1299 1549"></td> <td data-bbox="1299 1504 1482 1549"></td> <td data-bbox="1482 1504 1665 1549"></td> <td data-bbox="1665 1504 1848 1549"></td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1504 2009 1549"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1549 751 1593"></td> <td data-bbox="751 1549 934 1593"></td> <td data-bbox="934 1549 1117 1593"></td> <td data-bbox="1117 1549 1299 1593"></td> <td data-bbox="1299 1549 1482 1593"></td> <td data-bbox="1482 1549 1665 1593"></td> <td data-bbox="1665 1549 1848 1593"></td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1549 2009 1593"></td> </tr> <tr> <th data-bbox="569 1593 751 1673">4) 経営の安定性に係るもの</th> <th data-bbox="751 1593 934 1673">4年度 (実績)</th> <th data-bbox="934 1593 1117 1673">5年度 (見込み)</th> <th data-bbox="1117 1593 1299 1673">6年度</th> <th data-bbox="1299 1593 1482 1673">7年度</th> <th data-bbox="1482 1593 1665 1673">8年度</th> <th data-bbox="1665 1593 1848 1673">9年度</th> <td colspan="2" data-bbox="1848 1593 2009 1673">備考</td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1673 751 1718">患者1人1日当たり入院収入(円)</td> <td data-bbox="751 1673 934 1718">88,802</td> <td data-bbox="934 1673 1117 1718">86,266</td> <td data-bbox="1117 1673 1299 1718">87,129</td> <td data-bbox="1299 1673 1482 1718">88,000</td> <td data-bbox="1482 1673 1665 1718">88,880</td> <td data-bbox="1665 1673 1848 1718">89,769</td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1673 2009 1718"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1718 751 1762">患者1人1日当たり外来収入(円)</td> <td data-bbox="751 1718 934 1762">18,634</td> <td data-bbox="934 1718 1117 1762">17,742</td> <td data-bbox="1117 1718 1299 1762">18,200</td> <td data-bbox="1299 1718 1482 1762">18,200</td> <td data-bbox="1482 1718 1665 1762">18,200</td> <td data-bbox="1665 1718 1848 1762">18,200</td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1718 2009 1762"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1762 751 1807"></td> <td data-bbox="751 1762 934 1807"></td> <td data-bbox="934 1762 1117 1807"></td> <td data-bbox="1117 1762 1299 1807"></td> <td data-bbox="1299 1762 1482 1807"></td> <td data-bbox="1482 1762 1665 1807"></td> <td data-bbox="1665 1762 1848 1807"></td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1762 2009 1807"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1807 751 1852"></td> <td data-bbox="751 1807 934 1852"></td> <td data-bbox="934 1807 1117 1852"></td> <td data-bbox="1117 1807 1299 1852"></td> <td data-bbox="1299 1807 1482 1852"></td> <td data-bbox="1482 1807 1665 1852"></td> <td data-bbox="1665 1807 1848 1852"></td> <td colspan="2" data-bbox="1848 1807 2009 1852"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1852 751 1896">上記数値目標設定の考え方</td> <td colspan="8" data-bbox="751 1852 2009 1896"> <p>高齢化社会の進展による環境の変化や、県立病院を取り巻く医療環境を踏まえた上で、「県立病院としての機能強化」、「群馬の医療を担う人材の確保と育成」及び「健全な経営」を柱として、取組の重点化を図りながら本計画期間中に経常収支の黒字を目指す内容とした。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1896 751 1976">② 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)</td> <td colspan="8" data-bbox="751 1896 2009 1976"> <p>新型コロナウイルス感染症関連補助金の縮小や更なる物価高騰が予想される令和6年度以降、各病院の経常収支が悪化することが予想されるため、計画期間を通じた経営強化の取組を行うことで、本計画期間内において経常収支を黒字化することを目標とした。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 1976 751 2273">③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)</td> <td data-bbox="751 1976 934 2273"> <p>民間的経営手法の導入</p> </td> <td colspan="7" data-bbox="934 1976 2009 2273"> <p>平成26年度からDPC対象病院へ移行したことから、より一層の医療の透明性、標準化、効率化を推進し、収益の向上を図る。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 2273 751 2451">事業規模・事業形態の見直し</td> <td colspan="8" data-bbox="751 2273 2009 2451"> <p>建物や設備の老朽化が進んでいることから、継続して高度な医療を提供していくため、当センターの再整備の方針が決定されたところである。県内唯一の小児専門病院としての機能強化、また総合周産期母子医療センターのあり方を含めた、病院再整備の検討を進めるとともに、再整備後を踏まえた院内の体制整備を進める。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="569 2451 751 2792">収入増加・確保対策</td> <td colspan="8" data-bbox="751 2451 2009 2792"> <p>病診連携・病病連携による患者の受入を着実にを行うとともに、効率的なベッドコントロールを行い、病床利用率の向上と加算の算定強化を図る。また、手術件数の増加のためキャンセル対策等の体制整備に取り組む。</p> </td> </tr> </tbody> </table>								1) 収支改善に係るもの	4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度	備考		経常収支比率 (%)	100.7	99.4	98.6	99.6	99.8	101.1			修正医業収支比率 (%)	62.0	65.8	68.4	69.4	69.3	70.9																					3) 収入確保に係るもの	4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度	備考		病床利用率 (%)	63.3	69.9	73.2	73.9	74.7	75.2			PICU加算算定患者数(人)	1,130	1,350	1,370	1,390	1,410	1,430			入退院支援加算3算定件数(件)	125	130	133	136	139	143																					3) 経費削減に係るもの	4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度	備考		後発医薬品指数	88.3	88.0	88.2	88.4	88.6	88.8			共同購入による診療材料費削減額(千円)	14,318	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000																					4) 経営の安定性に係るもの	4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度	備考		患者1人1日当たり入院収入(円)	88,802	86,266	87,129	88,000	88,880	89,769			患者1人1日当たり外来収入(円)	18,634	17,742	18,200	18,200	18,200	18,200																					上記数値目標設定の考え方	<p>高齢化社会の進展による環境の変化や、県立病院を取り巻く医療環境を踏まえた上で、「県立病院としての機能強化」、「群馬の医療を担う人材の確保と育成」及び「健全な経営」を柱として、取組の重点化を図りながら本計画期間中に経常収支の黒字を目指す内容とした。</p>								② 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)	<p>新型コロナウイルス感染症関連補助金の縮小や更なる物価高騰が予想される令和6年度以降、各病院の経常収支が悪化することが予想されるため、計画期間を通じた経営強化の取組を行うことで、本計画期間内において経常収支を黒字化することを目標とした。</p>								③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)	<p>民間的経営手法の導入</p>	<p>平成26年度からDPC対象病院へ移行したことから、より一層の医療の透明性、標準化、効率化を推進し、収益の向上を図る。</p>							事業規模・事業形態の見直し	<p>建物や設備の老朽化が進んでいることから、継続して高度な医療を提供していくため、当センターの再整備の方針が決定されたところである。県内唯一の小児専門病院としての機能強化、また総合周産期母子医療センターのあり方を含めた、病院再整備の検討を進めるとともに、再整備後を踏まえた院内の体制整備を進める。</p>								収入増加・確保対策	<p>病診連携・病病連携による患者の受入を着実にを行うとともに、効率的なベッドコントロールを行い、病床利用率の向上と加算の算定強化を図る。また、手術件数の増加のためキャンセル対策等の体制整備に取り組む。</p>							
1) 収支改善に係るもの	4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																																																																																																																																																																																																																																											
経常収支比率 (%)	100.7	99.4	98.6	99.6	99.8	101.1																																																																																																																																																																																																																																												
修正医業収支比率 (%)	62.0	65.8	68.4	69.4	69.3	70.9																																																																																																																																																																																																																																												
3) 収入確保に係るもの	4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																																																																																																																																																																																																																																											
病床利用率 (%)	63.3	69.9	73.2	73.9	74.7	75.2																																																																																																																																																																																																																																												
PICU加算算定患者数(人)	1,130	1,350	1,370	1,390	1,410	1,430																																																																																																																																																																																																																																												
入退院支援加算3算定件数(件)	125	130	133	136	139	143																																																																																																																																																																																																																																												
3) 経費削減に係るもの	4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																																																																																																																																																																																																																																											
後発医薬品指数	88.3	88.0	88.2	88.4	88.6	88.8																																																																																																																																																																																																																																												
共同購入による診療材料費削減額(千円)	14,318	20,000	22,000	24,000	26,000	28,000																																																																																																																																																																																																																																												
4) 経営の安定性に係るもの	4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度	備考																																																																																																																																																																																																																																											
患者1人1日当たり入院収入(円)	88,802	86,266	87,129	88,000	88,880	89,769																																																																																																																																																																																																																																												
患者1人1日当たり外来収入(円)	18,634	17,742	18,200	18,200	18,200	18,200																																																																																																																																																																																																																																												
上記数値目標設定の考え方	<p>高齢化社会の進展による環境の変化や、県立病院を取り巻く医療環境を踏まえた上で、「県立病院としての機能強化」、「群馬の医療を担う人材の確保と育成」及び「健全な経営」を柱として、取組の重点化を図りながら本計画期間中に経常収支の黒字を目指す内容とした。</p>																																																																																																																																																																																																																																																	
② 経常収支比率及び修正医業収支比率に係る目標設定の考え方(対象期間中に経常黒字化が難しい場合の理由及び黒字化を目指す時期、その他目標設定の特例を採用した理由)	<p>新型コロナウイルス感染症関連補助金の縮小や更なる物価高騰が予想される令和6年度以降、各病院の経常収支が悪化することが予想されるため、計画期間を通じた経営強化の取組を行うことで、本計画期間内において経常収支を黒字化することを目標とした。</p>																																																																																																																																																																																																																																																	
③ 目標達成に向けた具体的な取組(どのような取組をどの時期に行うかについて、特に留意すべき事項も踏まえ記入)	<p>民間的経営手法の導入</p>	<p>平成26年度からDPC対象病院へ移行したことから、より一層の医療の透明性、標準化、効率化を推進し、収益の向上を図る。</p>																																																																																																																																																																																																																																																
事業規模・事業形態の見直し	<p>建物や設備の老朽化が進んでいることから、継続して高度な医療を提供していくため、当センターの再整備の方針が決定されたところである。県内唯一の小児専門病院としての機能強化、また総合周産期母子医療センターのあり方を含めた、病院再整備の検討を進めるとともに、再整備後を踏まえた院内の体制整備を進める。</p>																																																																																																																																																																																																																																																	
収入増加・確保対策	<p>病診連携・病病連携による患者の受入を着実にを行うとともに、効率的なベッドコントロールを行い、病床利用率の向上と加算の算定強化を図る。また、手術件数の増加のためキャンセル対策等の体制整備に取り組む。</p>																																																																																																																																																																																																																																																	

	経費削減・抑制対策	薬品や診療材料については、安全性や治療効果等を見極めながら、後発医薬品の採用を促進するとともに、共同購入等を活用した診療材料費の縮減に一層取り組む。
	その他	
	④経営強化プラン対象期間中の各年度の収支計画等	別紙1記載
※点検・評価・公表等	策定プロセス (経営強化プラン策定にあたり、①市内調整状況、②他の地方公共団体・関係医療機関等・専門家等との意見交換状況③議会・住民への説明状況等について記載すること)	①経営戦略会議等により検討 ②外部有識者を中心とする群馬県経営評価委員会、地域医療構想調整会議にて説明を実施 ③策定状況を県HPで公表、議会へ説明
	点検・評価等の体制 (委員会等を設置する場合その概要)	外部有識者を中心とする県立病院経営評価委員会において実施状況を毎年度評価し、公表
	点検・評価の時期(毎年〇月頃等)	毎年12月頃を予定
	公表の方法	群馬県HPにて公表
その他特記事項		

(別紙1)

団体名 (病院名)	群馬県立小児医療センター
--------------	--------------

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:千円、%)

年度		4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度
収	1. 医 業 収 益 a	4,053,338	4,234,296	4,422,151	4,493,952	4,567,163	4,641,813
	(1) 料 金 収 入	3,886,389	4,070,191	4,283,532	4,353,718	4,425,315	4,498,350
	(2) そ の 他	166,950	164,105	138,619	140,234	141,848	143,463
	うち他会計負担金 b	0	0	0	0	0	0
	2. 医 業 外 収 益	2,652,230	2,294,700	2,062,280	2,060,840	2,112,489	2,089,523
	(1) 他会計負担金・補助金	1,687,068	1,625,387	1,625,387	1,625,387	1,625,387	1,625,387
	(2) 国 (県) 補 助 金	461,858	317,040	17,748	17,259	16,770	16,281
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	292,853	269,282	276,704	284,796	345,977	332,542
	(4) そ の 他	210,451	82,991	142,441	133,398	124,356	115,313
	経 常 収 益 (A)	6,705,568	6,528,996	6,484,431	6,554,792	6,679,652	6,731,337
入	1. 医 業 費 用 c	6,542,835	6,439,653	6,467,259	6,474,249	6,587,883	6,549,890
	(1) 職 員 給 与 費 d	3,610,403	3,607,946	3,598,219	3,600,251	3,602,283	3,604,315
	(2) 材 料 費	1,061,359	971,827	1,076,564	1,072,246	1,067,560	1,062,491
	(3) 経 費	1,308,130	1,309,334	1,236,760	1,231,760	1,226,760	1,221,760
	(4) 減 価 償 却 費	526,406	487,472	515,423	530,845	653,279	624,469
	(5) そ の 他	36,537	63,074	40,293	39,147	38,001	36,855
	2. 医 業 外 費 用	116,699	129,095	106,582	106,582	106,582	106,582
	(1) 支 払 利 息	5,928	6,949	6,265	6,265	6,265	6,265
	(2) そ の 他	110,771	122,146	100,317	100,317	100,317	100,317
	経 常 費 用 (B)	6,659,534	6,568,749	6,573,841	6,580,831	6,694,464	6,656,471
出	経 常 損 益 (A)-(B) (C)	46,034	▲ 39,753	▲ 89,410	▲ 26,039	▲ 14,812	74,865
特別損益	1. 特 別 利 益 (D)						
	2. 特 別 損 失 (E)	44,717					
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 44,717	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	1,317	▲ 39,753	▲ 89,410	▲ 26,039	▲ 14,812	74,865	
累 積 欠 損 金 (G)	▲ 104,253	▲ 64,500	24,909	50,949	65,761	▲ 9,105	
不良債務	流 動 資 産 (ア)	2,081,585	2,060,585	2,060,585	2,060,585	2,060,585	2,060,585
	流 動 負 債 (イ)	1,384,651	1,334,315	1,334,315	1,334,315	1,334,315	1,334,315
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源 (ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (エ)	0	0	0	0	0	0
差引 不良債務 (オ)	▲ 696,934	▲ 726,270	▲ 726,270	▲ 726,270	▲ 726,270	▲ 726,270	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.7	99.4	98.6	99.6	99.8	101.1	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 17.2	▲ 17.2	▲ 16.4	▲ 16.2	▲ 15.9	▲ 15.6	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{c} \times 100$	62.0	65.8	68.4	69.4	69.3	70.9	
修 正 医 業 収 支 比 率 $\frac{a-b}{c} \times 100$	62.0	65.8	68.4	69.4	69.3	70.9	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{d}{a} \times 100$	89.1	85.2	81.4	80.1	78.9	77.6	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	▲ 696,934	▲ 726,270	▲ 726,270	▲ 726,270	▲ 726,270	▲ 726,270	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 17.2	▲ 17.2	▲ 16.4	▲ 16.2	▲ 15.9	▲ 15.6	
病 床 利 用 率	63.3%	70.0%	73.2%	73.9%	74.7%	75.2%	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:千円、%)

年度		4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度
収	1. 企業債	247,000	601,000	524,000	1,053,000	146,000	163,000
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	225,734	240,444	192,830	184,431	203,004	295,677
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	45,209	12,559	0	0	0	0
	7. その他	9,493	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	527,436	854,003	716,830	1,237,431	349,004	458,677
入	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)						
	前年度同意債で当年度借入分 (c)						
	純計(a)-(b)+(c) (A)	527,436	854,003	716,830	1,237,431	349,004	458,677
	1. 建設改良費	308,290	621,815	524,626	1,053,580	146,348	163,780
支	2. 企業債償還金	481,602	510,936	415,621	398,733	435,789	621,041
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
	支出計 (B)	789,892	1,132,751	940,247	1,452,313	582,137	784,821
差引不足額 (B)-(A) (C)		262,456	278,748	223,417	214,882	233,133	326,144
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	262,073	278,748	223,417	214,882	233,133	326,144
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
	計 (D)	262,073	278,748	223,417	214,882	233,133	326,144
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)		383	0	0	0	0	0
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)							
実質財源不足額 (E)-(F)		383	0	0	0	0	0

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:千円)

	4年度 (実績)	5年度 (見込み)	6年度	7年度	8年度	9年度
収益的収支	(70,159) 1,687,068	(15,606) 1,625,387				
資本的収支	(0) 225,734	(0) 240,444	(0) 192,830	(0) 184,431	(0) 203,004	(0) 295,677
合計	(70,159) 1,912,802	(15,606) 1,865,831	(15,606) 1,818,217	(15,606) 1,809,818	(15,606) 1,828,391	(15,606) 1,921,064

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。